2024年12月10日 町田第一小学校 PTA

会長:笹原 健太郎 発行:本部書記

PTA 通信 No.4

第4回常任委員会 議事報告

日時: 12月10日(火) 10:00~11:00

場所:ランチルーム

議決権総数

常任委員(学級代表・専門部):28

出席 : 18

欠席 :1

委任状 : 9

常任委員会出席者

校長、副校長、本部役員、小 P 連委員 常任委員、選考委員

【議長選出】

PTA 会長より議長兼務の申し出。 異議なし

<挨拶>

- ・会長挨拶
- · 校長先生挨拶
- ·副校長先生挨拶
- <議長選任>
- ・議長選出、出席者・委任状確認
- <議題>
- 1,【要議論】来期運営に関する簡素化について
- 2、【要議論】PTA 入会に対する同意書の導入に関して
- 3,【確認事項】PTA 関連で利用が必要な Microsoft ライセンスに関して
- 4,【確認事項】各部会・委員会の仕事内容の改定に 関して
- 5,【情報共有】来年度の役員募集に関する進捗共有
- 6,【連絡】予算委員会に向けて
- <確認事項>
- · 予算委員会 2/18 (火) 10:00~12:00

【PTA 会長挨拶】

本格的に冬も始まり、インフルエンザ、コロナ、リンゴ病が流行っているようなので皆さんご注意ください。

【校長挨拶】

- 1. 挨拶
- 2, 学習発表会 ご協力への感謝 周知の難しさ
- 3. 人数が確定しない
 - ①35人学級 8人学級
 - ②現3年 4年 ひまわり

- ③新1年 3学級か4学級か未定
 - →5月クラス替えがどうなるか
- 4, 次年度7月4日 金曜日 研究発表会

【副校長挨拶】

今週金曜日から始まる個人面談、担任と個別の話が出来る貴重な時間だと思うので、15分という短い時間ではあるが有効活用して欲しい。

1、【要議論】来期運営に関する簡素化について

共働きが増えている事もあり、PTA 役員の担い手が少なくなってきている状況の為、PTA 業務の簡素化が必要であると感じている。23 年度から廃止されたものもあるが、さらに統合や廃止などで簡素化できないかを検討したい。

〈2024 年度→2025 年度での検討案〉

- (1) 学年代表
 - ① 負担の少ない1学年~3学年の人数の削減
 - ② 人数は現行のままで、業務に選考委員業務を追加
 - ③ 人数は現行のままで、業務に選考委員業務の一部を追加。取りまとめは選考委員
- (2) 小 P 連→本部へ統合
- (3) 広報について

(1) 学年代表

議長:検討するにあたり、現在実施している実際の業務についてお話頂きたい。

1年	常任委員会への出席、集金、名簿作成	
2年	常任委員会への出席、集金、1年から引き継いだ名簿を利用しての作成	
3年	常任委員会への出席、集金、1,2年から引き継いだ名簿作成	
4年	常任委員会への出席、集金、	
	10歳を祝う会に向けての打ち合わせ、お祝い品の用意など。	
5年	常任委員会への出席、集金、	
	スキー合宿の旅行プランの確認。次年度の委員決めの司会。	
6年	常任委員会への出席、集金、林間学校のバス会社の選定、	
	卒業式関連(コサージュ、証書ホルダーの選定、記念品、祝い菓子、お花の	
	準備、当日の装飾準備)	
ひまわり	常任委員会への出席、集金、予算内で毎年寄贈品を贈呈。	
	3月に実施している6年生のお別れ会の記念品用意。	

議長: 4 年生、5 年生、6 年生、ひまわり学級はそれぞれの行事に関係した仕事があって、 $1\sim3$ 年生は比較的緩やかな感じを受けた。

実施している業務を参考にして、①、②、③もしくは別の案などのご意見を伺いたい。

4, 5, 6年 しいて言うならば3案。選考委員が楽になると思う。 だが、次の年度の学年代表のなり手のハードルが上がるのでは。 3年 現行のまま。選考委員の業務が増えると4~6年の負担が増える為、なり手がこれまで以上にいなくなってしまうのではと思うので。 ひまわり 3案。自分の学年に対しては役員選考の際の声がけがしやすいように思うし、声かけされた方も受けやすくなるのではないかという印象。業務量が多くなってしまうので、取りまとめは選考委員にお願いしたい。 2年 3案。PTA 役員の人数を減らす事が望ましいとは思わない。これだったらできるかなという、やりやすい役員があった方が良いと思う。人数が減ると、PTA 役員を6年間やらずに済むのかな。と、立候補する方がもっと減ると思う。通年を通しての取りまとめは必要だと思うので、選考委員はそのまま残し、業務を割り振って頂いた方がやりやすいのでは、また、PTA についてもっとオープンにしてもらう事が大切だと思う。 PTA 本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使っていて、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 3案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員の立場から、2案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。 選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人裸しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があるといの形になると思う。	天旭している	来伤を多ちにして、①、②、③もしくは別の条なとのこ息兄を何いたい。 	
3年 現行のまま。選考委員の業務が増えると4~6年の負担が増える為、なり手がこれまで以上にいなくなってしまうのではと思うので。 ひまわり 3案。自分の学年に対しては役員選考の際の声がけがしやすいように思うし、声かけされた方も受けやすくなるのではないかという印象。業務量が多くなってしまうので、取りまとめは選考委員にお願いしたい。 2年 3案。PTA 役員の人数を減らす事が望ましいとは思わない。これだったらできるかなという、やりやすい役員があった力が良いと思う。人数が減ると、PTA 役員を6年間やらずに済むのかな。と、立候補する方がもっと減ると思う。通年を通しての取りまとめは必要だと思うので、選考委員はそのまま残し、業務を割り振って頂いた方がやりやすいのでは。また、PTA についてもっとオープンにしてもらう事が大切だと思う。PTA 本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使っていて、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 3案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3年の学年代表に業務追加が良いのでは、人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。選考委員の立場から、2案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ	4, 5, 6年	しいて言うならば3案。選考委員が楽になると思う。	
なり手がこれまで以上にいなくなってしまうのではと思うので。 ひまわり 3 案。自分の学年に対しては役員選考の際の声がけがしやすいように思うし、声かけされた方も受けやすくなるのではないかという印象。業務量が多くなってしまうので、取りまとめは選考委員にお願いしたい。 2 年 3 案。PTA 役員の人数を減らす事が望ましいとは思わない。これだったらできるかなという、やりやすい役員があった方が良いと思う。人数が減ると、PTA 役員を 6 年間やらずに済むのかな。と、立候補する方がもっと減ると思う。通年を通しての取りまとめは必要だと思うので、選考委員はそのまま残し、業務を割り振って頂いた方がやりやすいのでは。また、PTA についてもっとオープンにしてもらう事が大切だと思う。PTA 本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使っていて、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 3 案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4 年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3 年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2 案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9 月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3 案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4 年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1 年生から 3 年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4 年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		だが、次の年度の学年代表のなり手のハードルが上がるのでは。	
びまわり 3案。自分の学年に対しては役員選考の際の声がけがしやすいように思うし、声かけされた方も受けやすくなるのではないかという印象。業務量が多くなってしまうので、取りまとめは選考委員にお願いしたい。 3案。PTA 役員の人数を減らす事が望ましいとは思わない。これだったらできるかなという、やりやすい役員があった方が良いと思う。人数が減ると、PTA 役員を6年間やらずに済むのかな。と、立候補する方がもっと減ると思う。通年を通しての取りまとめは必要だと思うので、選考委員はそのまま残し、業務を割り振って頂いた方がやりやすいのでは、また、PTA についてもっとオープンにしてもらう事が大切だと思う。PTA 本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使っていて、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 3案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4 年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3 年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。選考委員の立場から、2 案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9 月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4 年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1 年生から 3 年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4 年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ	3年	現行のまま。選考委員の業務が増えると 4~6 年の負担が増える為、	
し、声かけされた方も受けやすくなるのではないかという印象。 業務量が多くなってしまうので、取りまとめは選考委員にお願いしたい。 3 案。PTA 役員の人数を減らす事が望ましいとは思わない。これだったらできるかなという、やりやすい役員があった方が良いと思う。 人数が減ると、PTA 役員を6年間やらずに済むのかな。と、立候補する方がもっと減ると思う。通年を通しての取りまとめは必要だと思うので、選考委員はそのまま残し、業務を割り振って頂いた方がやりやすいのでは。また、PTA についてもっとオープンにしてもらう事が大切だと思う。 PTA 本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使っていて、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 3 案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4 年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3 年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2 案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9 月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3 案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4 年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1 年生から 3 年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4 年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		なり手がこれまで以上にいなくなってしまうのではと思うので。	
業務量が多くなってしまうので、取りまとめは選考委員にお願いしたい。 2 年 3 案。PTA 役員の人数を減らす事が望ましいとは思わない。これだったらできるかなという、やりやすい役員があった方が良いと思う。人数が減ると、PTA 役員を6年間やらずに済むのかな。と、立候補する方がもっと減ると思う。通年を通しての取りまとめは必要だと思うので、選考委員はそのまま残し、業務を割り振って頂いた方がやりやすいのでは。また、PTA についてもっとオープンにしてもらう事が大切だと思う。PTA 本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使っていて、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 1 年 3 案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4 年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3 年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2 案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9 月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3 案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4 年生以上の学年代表の選考の仕事をお願いして、4 年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ	ひまわり	3 案。自分の学年に対しては役員選考の際の声がけがしやすいように思う	
2年 3案。PTA 役員の人数を減らす事が望ましいとは思わない。これだったらできるかなという、やりやすい役員があった方が良いと思う。人数が減ると、PTA 役員を6年間やらずに済むのかな。と、立候補する方がもっと減ると思う。通年を通しての取りまとめは必要だと思うので、選考委員はそのまま残し、業務を割り振って頂いた方がやりやすいのでは。また、PTA についてもっとオープンにしてもらう事が大切だと思う。PTA 本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使っていて、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 1年 3案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		し、声かけされた方も受けやすくなるのではないかという印象。	
できるかなという、やりやすい役員があった方が良いと思う。 人数が減ると、PTA 役員を 6 年間やらずに済むのかな。と、立候補する方がもっと減ると思う。通年を通しての取りまとめは必要だと思うので、選考委員はそのまま残し、業務を割り振って頂いた方がやりやすいのでは。また、PTA についてもっとオープンにしてもらう事が大切だと思う。 PTA 本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使っていて、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 1年 3 案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4 年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3 年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2 案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9 月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3 案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4 年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1 年生から 3 年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4 年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		業務量が多くなってしまうので、取りまとめは選考委員にお願いしたい。	
人数が減ると、PTA 役員を6年間やらずに済むのかな。と、立候補する方がもっと減ると思う。通年を通しての取りまとめは必要だと思うので、選考委員はそのまま残し、業務を割り振って頂いた方がやりやすいのでは。また、PTA についてもっとオープンにしてもらう事が大切だと思う。PTA 本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使っていて、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 1年 3案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ	2年	3 案。PTA 役員の人数を減らす事が望ましいとは思わない。これだったら	
がもっと減ると思う。通年を通しての取りまとめは必要だと思うので、選 考委員はそのまま残し、業務を割り振って頂いた方がやりやすいのでは。 また、PTAについてもっとオーブンにしてもらう事が大切だと思う。 PTA本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使っていて、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 1年 3 案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2 案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9 月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3 案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4 年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1 年生から 3 年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4 年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		できるかなという、やりやすい役員があった方が良いと思う。	
考委員はそのまま残し、業務を割り振って頂いた方がやりやすいのでは。また、PTA についてもっとオープンにしてもらう事が大切だと思う。PTA 本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使っていて、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 1年 3案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		人数が減ると、PTA 役員を 6 年間やらずに済むのかな。と、立候補する方	
また、PTA についてもっとオープンにしてもらう事が大切だと思う。 PTA 本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使っていて、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 1年 3案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。 選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		がもっと減ると思う。通年を通しての取りまとめは必要だと思うので、選	
PTA 本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使っていて、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 1年 3案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。 選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		考委員はそのまま残し、業務を割り振って頂いた方がやりやすいのでは。	
て、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもらった方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 1年 3案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		また、PTA についてもっとオープンにしてもらう事が大切だと思う。	
った方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。 1年 3 案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4 年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3 年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2 案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9 月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3 案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4 年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1 年生から 3 年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4 年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		PTA 本部がどのような活動をしているのか、予算はこういう風に使ってい	
1年 3案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあがり、なり手が少なくなる。4年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3年の学年代表に業務追加が良いのでは。人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		て、だから PTA が必要なんだという事を皆さんにわかるようにしてもら	
り、なり手が少なくなる。4年生以上の学年代表は業務が多いようだったので、1~3年の学年代表に業務追加が良いのでは。 人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。 選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		った方が PTA の今後についての良案も出てくると思う。	
ので、1~3年の学年代表に業務追加が良いのでは。 人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。 選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ	1年	3 案。選考委員の業務追加では業務が増えるのでかなりハードルがあが	
及数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。 選考委員 選考委員の立場から、2 案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9 月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3 案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4 年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1 年生から 3 年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4 年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		り、なり手が少なくなる。4年生以上の学年代表は業務が多いようだった	
選考委員 選考委員の立場から、2 案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあり、その取りまとめが必要なので。9 月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3 案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4 年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1 年生から3 年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4 年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		ので、1~3年の学年代表に業務追加が良いのでは。	
り、その取りまとめが必要なので。9月から選考活動が始まるのでそこから業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		人数を減らすのは一人の負担が増える為、難しいと思う。	
ら業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。 また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、 結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。 選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。 ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ	選考委員	選考委員の立場から、2 案は難しい。年間の役員募集のスケジュールがあ	
また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。 選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。 ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		り、その取りまとめが必要なので。9月から選考活動が始まるのでそこか	
結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。 選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。 ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		ら業務量が増える。それを学年代表にお任せするのは現実的ではない。	
選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者がいれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		また、昨年は選考委員が廃止され、本部に統合して業務を担っていたが、	
いれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。 ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		結局大変で選考が別に出来た事を考えると3案が良いと思う。	
年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。 ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である 為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いし て、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるの で、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		選考の仕事で大変なのは、候補者がいなかった際の電話かけ。立候補者が	
ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である 為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いし て、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるの で、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		いれば電話かけが不要になるので、人探しの部分で選考委員だけでなく学	
為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願いして、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		年代表の人数の追加があると結構大きな力になると思う。	
て、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるので、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		ただ、ここまでお話を聞いて、4年生以上の学年代表の業務が大変である	
で、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ		為、別の案として、1年生から3年生の学年代表は選考の仕事をお願い	
		て、4年生以上は少なくても良いのかと。永久免除のメリットもあるの	
るといい形になると思う。		で、低学年をメインに打診していこうという所でもあり、そこの協力があ	
		るといい形になると思う。	

議長: PTA の中身が見えない。本部側の中身が見えないというのは我々も非常に危惧している。何をしているかわからない事で立候補できないというのが一番多いのでは。

どう発信していくのが良いのか、まだ回答は出ないが、最終的には出していきたいと思っている。

(2) 小P連

年3回程度の小P連会議および年6回程度の青少年地区委員会への出席があるが、本部役員で分担する事で、本部への統合が可能。

ただ、小P連委員を廃止という事であれば会則の変更が必要になる。

その場合、次回の総会へ掛ける必要がある為、来年度は小P連委員は残し、仕事自体を本部へ統合して行い、統合で問題が無いか様子を見ながら小P連廃止の方向で進めていく。

(3) 広報

業務としては明るい窓の発行。

今年度は立候補者が1名であった為に廃止となった。

3 名程度希望者が出れば成立する為、立候補者がいた場合はお願いする形で進める。

2、【要議論】PTA 入会に対する同意書の導入に関して

四校交流会(町田第一小、第三小、第四小、町田第一中)の際に、同意書を取得している 所が多いことがわかった。

取得後の管理方法等についての運用を確定させる必要があり、来年度の開始は困難な為、 再来年度より同意書の取得を検討している。

同意書の導入について皆さんの意見をお伺いしたい。

ひまわり	同意書賛成。役員をやりたくないからと入らない方も出てくると思うの
	で、PTA の中身についてもっと明確になった物が同意書と一緒に提示され
	ると良い。
3年	PTA の役員になりたくないから非加入になる人が出てくるのでは。
	PTA 加入と委員決めを別にしないと、PTA 加入者がどんどん減っていく
	のではないか。
6年	加入したい人は提出という形だと、出し忘れによる加入者減も考えられる
	ため、全員回答のアンケートフォームにするのはどうか。オンラインにす
	る事で紙を保管の場合の情報漏洩のリスクも減るし、一元管理のメリット
	もあるのでは。PTA の必要性についてはアンケートに合わせて周知すべ
	き。先生方だけでは人手が足りない部分を、保護者として、子供たちの安
	全や楽しい行事の為にお手伝いしているという事を伝えて頂きたい。ま
	た、他校の運用事例も参考にして取り入れてみては。

1年	同意書を取るうえで、PTA 会費が実際にどういう所に使われているのか、	
	家庭や子供にどう還元されているのか伝える必要がある。tetoru などでの	
	配信も良いが、やはり紙でないと見ないかも。という意見もあり、データ	
	での取得が良いのか、紙での取得が良いのか難しいなと思う。	
2年	加入、非加入どちらとも回答をもらうと必要な対策も増えるが両方あっ	
	方が良いと思う。どちらとも回答しなかった人についてどうするか、回答	
	の保管をどうするかなど、同意書を導入する場合は扱いに関する大切な所	
	まで決めておくべきだと思う。また、PTA は子供たちの為に活動している	
	という事がわかる形にしていく必要がある。役員をやりたくないという方	
	も多いので、例えば、役員は全部立候補のみにするとかであれば、PTA に	
	入るのは良いかな。という保護者も増えるのでは。実際に他校で PTA 役	
	員が 3 人の所があると聞いて、それでも回っているのであれば、そういう	
	方法も良いのかなと思う。PTA 加入が減った場合、PTA 加入、非加入に	
	関係なく、子供に関する事は保護者みんなで対応しましょうと、PTA と切	
	り離して考えて行く事も必要になるのかもしれない。	
小P連	一中でも PTA をやっていて、四校交流会にも出席していた。また、小P	
	連で他校の情報交換会にも出席した為、他校についての情報もお伝えした	
	い。まず、同意書は取らなくてはいけない流れになっている。同意書を取	
	ると、加入者は必ず減る為、減る前提で PTA は動く必要がある。	
	なぜ加入してもらいたいのかを明確に保護者へ示す事が不可欠。	
	他校の 1 例だが、グーグルフォームのようなアンケートフォームを利用し	
	ていて、入学と転入の時に意思確認をしている。加入率は 5 割。会費につ	
	いては、会員が会費として支払うのではなく、全保護者から協力金という	
	方法で集めていて、協力金の回収率は 9 割。その為、お金はそこで確保で	
	きている。別の学校では、加入の意思確認を取り、加入者から会費を集め	
	る形を取っている。割合については不明だが、PTA 活動をできる限り減ら	
	し、負担を少なくして PTA 加入をお願いしているとの事。	
	同意書を導入する場合は会費の扱いをどうするかの検討も必要になると思	
	う。	
	会員数が減る事で、今までの活動が維持できなくなるとすると、PTA で行	
	っている校外と運動会に関しては考えを変える必要もあると思う。	
	どの学校でも見守りについては課題にしていて、地域の方が手を貸してく	
	れている為、PTA は何もしない所もあれば、大雑把にこの週は何年何組が	
	この場所担当などの分担表が配られるだけの所など、地域や交通事情によ	
	っても異なっている。保護者が対応する負担を減らしたり、校外の方の分	
	担表作成の負担を減らすという意味でも外注という選択肢が出てくるかも	

しれない。

議長:同意書を導入した場合、加入者が減るというのは避けて通れない為、どういう形で その比率を減らしていくのか、加入を増やしていくのかを本部の方でも考えて案を出して いきたいと思う。どう進めていくか、また皆さんの意見を聞かせて欲しい。

3、【確認事項】PTA 関連で利用が必要な Microsoft ライセンスに関して

本部:会計、書記で2つ。

校外:3つ その他は不要。

4、【確認事項】各部会・委員会の仕事内容の改定に関して ホームページに記載の仕事内容がコロナ禍前の物であるため、見直しが必要。 紙で提出依頼。まだの方は 17 日までにメールを。

5、【情報共有】来年度の役員募集に関する進捗共有

<選考委員より>

小P連を募集していたが、本部での兼任で進むため、募集無し。

会長、副会長1名。会計立候補済み。

副会長 1名 書記2名募集予定

12月20日前後から電話かけをスタート予定の為、それまでに立候補者が出るような声掛けをお願いしたい。

6、【連絡】予算委員会に向けて

次年度の予算に関してヒアリングをする為、事前に会計へメール送付を。 会計からメール案内をする為、それに返信を依頼。 当日は会計セットを持参。

※次回、予算委員会の前にそれぞれの子供のクラスの教室参観を予定。 希望者は参加 OK。

委員会前の9時25分からスタート予定。

予算委員会 : 2025 年 2 月 18 日 (火) 10 時~ ランチルームにて

2024年度 活動報告 ※2024/12/10までに実施した活動

	2024 十)		
本部			
	常任委員会開催(5/14,7/9,10/3)		
	PTA通信発行		
	青少健地区委員会に会長・副会長出席(5/13,9/9,11/11)		
6月4日	PTA会費集金		
12月6日	四校交流会に会長・副会長出席		
小P連			
4月17日	委員全体会、新旧引継ぎ		
5月14日	第一回常任委員会		
5月21日	町田市公立小学校PTA連絡協議会定期総会(書面総会)		
7月9日	第二回常任委員会(欠席)		
9月12日	第一回小P連情報交換会出席(町田市教育センターにて)		
9/20~9/26	常任委員から町田市へ提出する要望募集		
9月30日	小P連大代表校へ要望書提出		
10月3日	第三回常任委員会		
10月26日	第二回小P連情報交換会出席		
12月4日	二十祭まちだ お祝いボード作成		
1年生			
4月17日	委員全体会、引継ぎ		
5月14日	第一回常任委員会		
6月4日	PTA会費集金		
7月9日	第2回常任委員会		
9月3日	引継ぎ用学年名簿作成		
10月3日	第三回常任委員会		
2年生			
4月17日	委員全体会、引継ぎ		
5月14日	第一回常任委員会		
6月4日	PTA会費集金		
7月9日	第二回常任委員会		
10月3日	第三回常任委員会		
3年生			
4月17日	委員全体会、引継ぎ		
5月14日	第一回常任委員会		
6月4日	PTA会費集金		
7月9日	第二回常任委員会		
10月3日	第三回常任委員会		

2024年度 活動報告

※2024/12/10までに実施した活動

4年生			
4月17日	委員全体会、引継ぎ		
5月14日	第一回常任委員会		
6月4日	PTA会費集金		
7月9日	第二回常任委員会		
10月3日	第三回常任委員会 第三回常任委員会		
10月25日	第1回10歳を祝う会について打ち合わせ(先生方との打ち合わせ・スケジュール・贈呈品決定)		
10月30日	10歳を祝う会贈呈品の依頼(依頼店へ贈呈品の予算・人数・当日スケジュール納品場所の依頼と確認)		
5年生			
4月17日	委員全体会、引継ぎ		
5月14日	第一回常任委員会		
6月4日	PTA会費集金		
7月9日	第二回常任委員会		
10月3日	第三回常任委員会		
10月22日	川上村移動教室について先生方と打ち合わせ		
6年生			
4月17日	委員全体会、引継ぎ		
4月20日	第一回打ち合わせ(活動内容把握・活動方針策定)		
5月14日	第一回常任委員会		
6月3日	第二回打ち合わせ(先生方との打ち合わせ・活動の全体概要)		
6月4日	PTA会費集金		
6月27日	第三回打ち合わせ(先生方との打ち合わせ・日光林間学校)		
7月9日	第二回常任委員会		
7月29日	林間学校差し入れの袋分け・先生へ手渡し		
8月22日	卒業装飾のイメージ出し合い・seria視察		
10月3日	第三回常任委員会・通信費配布		
10月28日	祝い菓子アレルギー対応アンケート 印刷・配布		
11月27日	アンケート締め切りリマインドtetoru配信		
ひまわり学級			
4月17日	委員全体会、引継ぎ		
5月14日	第一回常任委員会		
6月4日	PTA会費集金		
7月9日	第二回常任委員会		
10月3日	第三回常任委員会		
11月28日	1組 備品購入リストもらう		

2024年度 活動報告

※2024/12/10までに実施した活動

12月6日 1組	購入品お渡し
----------	--------

14 M 150 500 400	
校外指導部	
4月17E	委員全体会
4月25E	第1回部会
5月1E	1年生歩行者訓練・3年生自転車教室 参加
5月13E	第1回青少年健全育成町田中央地区委員会 出席
5月14日	第1回常任委員会 出席
5月16日	「旗振りボランティア募集」作成・配布
5月中	「子ども110番の家」引継ぎ・挨拶回り
6月13日	第2回部会、「危険箇所アンケート」作成・配布
6月16日	青少年健全育成町田中央地区委員会研修会 出席
5月~6月	「子ども110番の家」名簿整理・町田市役所に提出
	「危険箇所点検要望提案書(案)」作成・学校に提出
7月8日	第2回青少年健全育成町田中央地区委員会 出席
7月9日	第2回常任委員会 出席
7月16日	地区交流会の案内文書作成
9月3日	地区交流会お便り配布
9月4日	「危険箇所アンケート結果」作成
9月8日	第3回青少年健全育成町田中央地区委員会 出席
9月11日	第3回部会、「危険箇所アンケート結果」印刷・配布
10月3日	第3回常任委員会 出席
10月4日	第4回部会
10月22日	地区交流会開催
11月6日	第5回部会
11月14日	通学路危険箇所点検
11月下旬	「地区交流会報告書」・「危険箇所点検報告書」作成
通年	旗振り当番ファイルセット・配布・回収、旗振り欠席連絡対応、旗振り
運動会サポー	卜実行委員会
4月17日	委員全体会・新旧引継ぎ
5月1日	先生方・役職者打ち合わせ
5月11日	役職者打ち合わせ
5月14日	第1回常任委員会出席、活動費、通信費、会計セット受け取り
5月17日	委員全体説明会、マニュアル、シフト表配布、ポロシャツ貸与、通信費支給
5月24日	前日準備
5月25日	運動会当日
6/上	ポロシャツ・委員アンケート回収

	2024年度 活動報告 ※202	4/12/10 までに実施した活動
6月~7月	アンケートまとめ	
7月9日	日 第2回常任委員会出席、活動費清算	
2月18日	予算委員会出席	
4/	新旧引継ぎ	
選考委員会		
4月20日	日 初顔合わせ、役割決め	
5月2日	日 承認議案作成(書記→委員長)	
5月7日	日 選考用メールアドレス作成、メールで常任委員会での承認議案提出	
5月10日	日 業務内容引継ぎ	
5月14日	田 第1回常任委員会 出席	
7月9日	田 第2回常任委員会 出席	
9月2日	日次年度本部役員募集文書の作成	
9月13日	日選考委員会集まり(文書印刷、募集方法の確認他)	
10月3日	田 第3回常任委員会 出席	
10月~12月	本部役員募集活動	
読み聞かせサー	ナークル	
5月1日	日 顔合わせ、6月開催について	
5月14日	田 第1回常任委員会 出席	
6月6日	日打ち合わせ	
6月18日	日 お話し会(中休み、昼休み)	